

MCU 利用上の注意

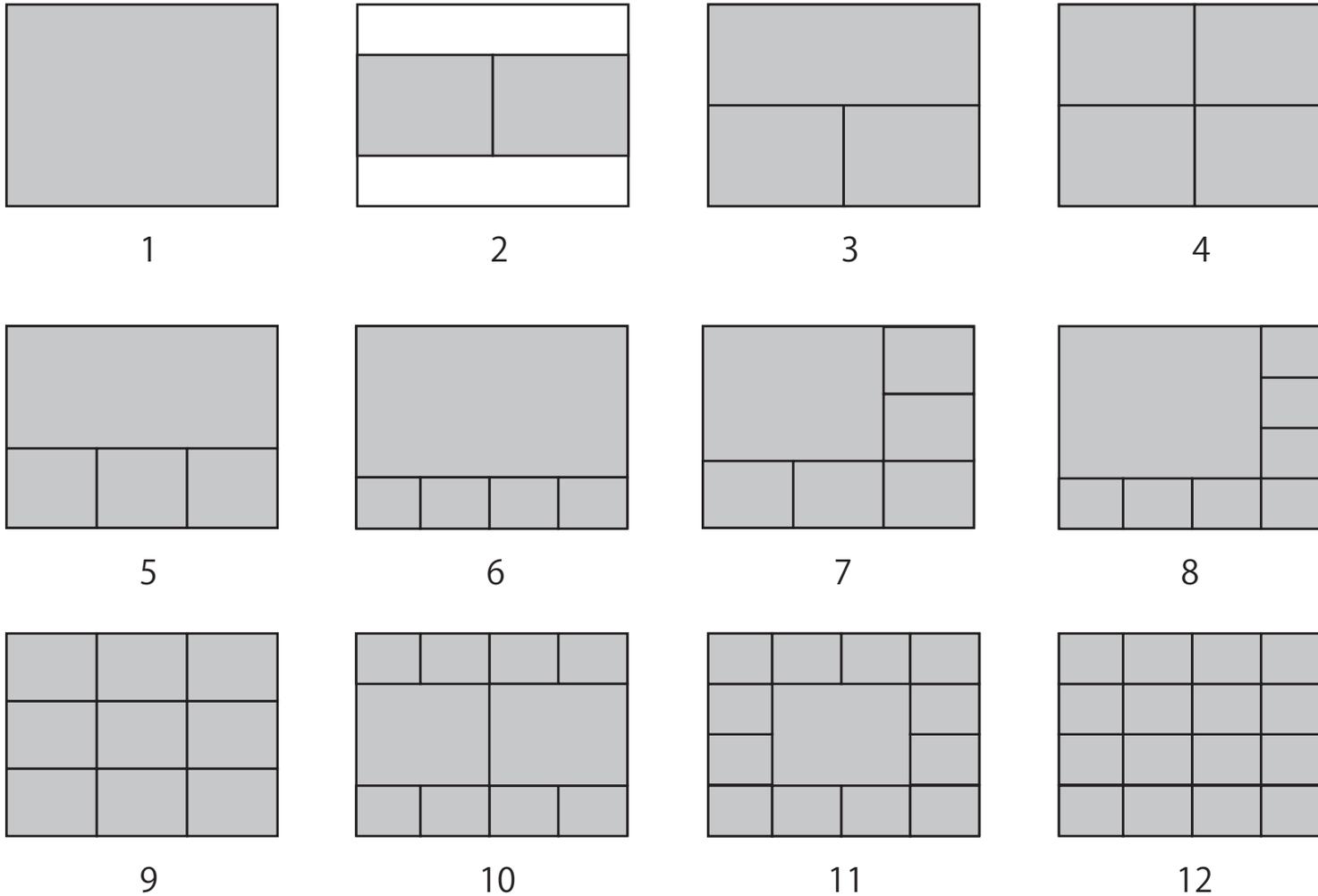
1. ご利用前に接続テストをお勧めします。テストは本番と同様の構成で行ってください。
2. 以下の場合に、MCU に接続が出来なかったり、映像が映らない・画質の低下・音がとぎれる・PC 画面の送受信ができない等の現象が発生することがあります。予めご了承ください。

- ① ファイアウォールにより通信ポートが閉じられている場合
(なお、TV 会議システムは製品により通信ポート番号が異なります)
- ② TV 会議システムが NAT の内側にあり、プライベートアドレスが付けられている場合
- ③ 参加する TV 会議システムの機種やソフトウェアバージョンによる相性
- ④ ネットワーク障害

※①、②については TV 会議システムを設置した各拠点のネットワーク管理者に事前にご確認ください。

3. 接続帯域は 384kbps～512kbps を推奨します。384kbps よりも低い場合は帯域不足で動作が不安定になる場合があります。なお、MCU の予約状況により、こちらで接続帯域を調整する場合があります。
4. ビデオプロトコルが H.264 に対応していない機種や、カメラ設定が「モーション」となっている機種が接続すると最大接続数が減少する場合があります。予めご確認いただき、カメラ設定が「モーション」となっている場合には「シャープネス」に設定してください。
5. PC 画面の送受信を行うには TV 会議システムが H.239 プロトコルに対応している必要があります。
6. MCU 使用中や会議直前における、レイアウト変更や接続拠点の追加はお受けしておりません。変更される場合は 2 営業日前までにご連絡ください。
7. 申込者以外からの問い合わせはお受けしておりません。各接続拠点でトラブルが発生した場合は申込者が状況を確認して当センターにご相談ください。
8. TV 会議の内容の録画はお受けしておりません。

画面レイアウト番号表



- ・画面レイアウトを指定する場合は上の表から希望する画面レイアウト番号を選んで申請書に記入ください。
- ・画面の最大表示拠点数を超える接続数になると、画面には表示されない拠点が出てきます。
- ・自拠点を含まない拠点数でお考えください。自拠点を表示させるためには申請書の
 - 画面に自拠点を表示する
 にチェックを入れてください。その場合1画面は自拠点を表示するために使われます。
- ・ 指定する拠点のみを各拠点に1画面で表示する（講義向き）。指定した拠点には各拠点の分割画面が表示されるにチェックを入れた場合、上のレイアウトは指定した拠点のみに適用されます。